

ポット²⁰⁰⁹別冊付録

0～5歳 年齢別・幼保別 4・5・6月の月案のヒント

保育カリキュラム

平成**21**年施行
新 幼稚園教育要領・保育所保育指針 対応!



- 年間計画付き!
- 要領・指針 改訂のポイントとキーワードを具体的に解説!
- 異年齢保育・子育て支援・保幼小連携の年間計画・月案を掲載!

2009年度 7・8・9月の月案 執筆園一覧&目次

- | | | |
|----|--------|---------------------|
| 4 | 0歳児 | うらら保育園 (沖縄) |
| 10 | 1歳児 | ひまわり保育園 (山口) |
| 16 | 2歳児 | 若葉保育園 (岩手) |
| 22 | 3歳児保育園 | 長房西保育園 (東京) |
| 28 | 3歳児幼稚園 | 宮前幼稚園 (神奈川) |
| 34 | 4歳児保育園 | つほみ保育園 (福井) |
| 40 | 4歳児幼稚園 | 宇都宮大学教育学部附属幼稚園 (栃木) |
| 46 | 5歳児保育園 | 敬愛学園カリキュラム研究会 (東京) |
| 52 | 5歳児幼稚園 | 赤穂市立赤穂幼稚園 (兵庫) |
| 58 | 異年齢保育 | 赤碕保育園 (鳥取) |
| 60 | 子育て支援 | 明照保育園 (愛知) |
| 62 | 保幼小連携 | 品川区立第一日野幼稚園 (東京) |

子育て支援 年間計画

年間目標

- 参加してもらうことで、保護者が子育ての楽しさや大切さを味わえるようにする。
- 保護者が子育てを通じて、周りの人とつながっていくという気持ちもてるよう、交流を大切にします。
- 保育園で行う子育て支援活動の特質を生かし、子育てにかかわる保育者、看護師、調理師などがかわりつつ、在宅児家庭と在園児家庭に共通する部分の支援のあり方を深めていく。

職員間の共通意識

- 保育園で行う子育て支援活動のポイントをしっかりと把握し、長所を伸ばして、配慮を要するところにきちんと対処していく。
 - 長所…子育てについて相談にのれる保育者などの専門家がいること。たくさんの子どもの様子や保育の流れに触れられること。
 - 配慮すること…在園児にとっては、地域の親子がたくさん来るといふ普段と違う環境から情緒不安定になる子もいる。一年度の初めは園庭開放などは行わない。また、前期の園庭開放では、年齢の低い園児は屋上などの違う場所での遊びに誘うなどの配慮をする。
- 園庭など、在園児と参加した子どもが交流する場面では、クラス担当の保育者も積極的に親子とかわり、子育て支援担当保育者をサポートしていく。
- 在園児家庭も在宅児家庭も、母親の「親」「主婦(妻)」「人間」という土台は共通であることから、どちらからの相談にも応じていけるように、援助の技術や知識を身につける。

●参加の呼びかけ

保護者の目線に立ち、参加したくなるような言葉をくふうし、呼びかける。

- 保育園および地域にあるスーパーなどの掲示板
 - 町内の回覧板・電話などでの問い合わせ
- 参加方法をわかりやすく伝える。
- 保育園へのアクセス方法
 - 初回は登録してもらい、子どもの名札を作成
 - 親子ひろばの予約システム



●交流

園庭開放(月1回 10:00~11:30)

- 園庭と遊戯室を開放し、親子が自由に遊びながら、子ども同士や親同士の交流を図る。
- 園児や保育者ともかわり合い、園の様子にも触れてもらう。
- 遊んだあとは、保育者と手遊びや絵本を楽しむ。

親子ひろば(年齢ごとに月1回ずつ 10:00~11:00)

- プレイルームにて、子どもをだっこして紹介し合ったり、作ったり読んだりなど、ひとつの遊びをみんなで楽しむ。
- 保護者が家庭でもできそうな、季節や子どもの成長に合わせた遊びを紹介していく。

行事参加

- 園行事に参加し、みんなで集う楽しさを親子で味わう。

活動予定(行事)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
	●園庭開放 ●親子ひろば				
		●フリーマーケット		●夕涼み会	

参加する在宅児

- 保護者がいっしょにいることで、安心して遊ぶ。
- ほかの子の様子に関心をもち、おもちゃや遊びを仲介してかわり合うとする。
- 在園児とのかかわりから刺激を受け、活発に遊ぶ。
- 自分の親以外の大人(保育者・ほかの親)の言葉やかかわりに少しずつ慣れ、受け入れていく。

参加する保護者

- 保育園という安心できる環境で、親子でじっくりかわる。
- 子どもを通して親同士でかわり合う楽しさを味わう。
- ほかの子ともや、親の様子を見て、子育てに生かしていく。
- 子育ての不安を周りに相談することで、不安を解消していく。

園児

- 親子が遊ぶ姿を受け入れる。
- 年長の子は、年下の園児同様、未入園児に対して優しくかわろうとする。
- 未入園児とともに、遊びや片づけを張り切って行う。



園児の保護者

- 在宅児家庭の親子が保育園で遊ぶことを受け入れ、その必要性を感じる。
- 自分の子が地域の子どもにかかわろうとする姿を好ましく思う。

●育児相談

相談方法

- 電話、面談、メールなど、さまざまな方法を保護者が選べるようにする。
- 園庭開放などでも、気軽に保育者に相談できる雰囲気を作る。

相談内容

- 生活習慣・発育・育児方法・育児環境のほか、さまざまな内容を視野に入れて受け止めていく。

姿勢

- しっかりと聞く。 ●思いを受け止める。
- 相談者の目線に立ち、親身になって聞く。

連携

- 相談を受けた職員は、支援担当保育者および主任に報告し、必要に応じて専門機関と連携を取る。

●情報提供

さまざまなおたより…在園児家庭向けのおたよりも活用していく


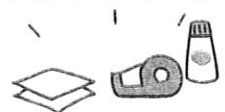

- 明照つばめっ子(子育て支援だより)
- 明照保育園だより
- 保健だより
- 食育だより
- リサイクルだより(資源回収など)

保育園のホームページ
育児講座
地域の相談機関を紹介



10月	11月	12月	1月	2月	3月
●運動会	●明照まつり	●作品展			●ゆうき会

子育て支援 4月5月6月の月案

	活動内容	保育者の配慮	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●4月は、在園児（新入園児・進級児）が情緒の安定を回り、新しい環境に慣れる月として、在宅児家庭を園に招く支援活動（園庭開放・年齢別親子ひろば）は行わない。 ※育児相談・情報提供は随時実施する。子育て支援だより「明照つぼめっ子」を保育園の掲示板や地域の施設の掲示板、ホームページなどで知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新入園児や進級児が少しずつ新しい生活に慣れるのを、保育者全員でサポートしていく。 	
5月	<p>0歳</p> <p>「みんなでおはなししましょ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親子で保育園を訪れ、遊んだり、保護者もいろいろな話をしたりしながら、親子ひろばの環境に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●初めて参加する親子は登録をする（次回からも同じ）。 ●子どもをだっこして、輪になって座る。 ●手遊びなどをして和んだところで、月齢でグループを作り、悩んでいることや聞いてみたいことなどをみんなで出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ひろばに慣れている親子、初めて参加する親子がそれぞれリラックスできるよう、複数の保育者で対応する。 ●話している間も、子どもが親のそばで安心して遊べるように、玩具などを十分に用意しておく。
	<p>1歳</p> <p>「みんなもだち〜ハンカチ遊び」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親子で自己紹介をし合ったり遊んだりすることで、かわり合いを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●初めて参加する親子は登録をする（次回からも同じ）。 ●親子で輪になって座る。 ●手遊びを楽しんだりしながら、好きな食べ物や遊びなどを話題にして自己紹介をしていく。 ●ハンカチを使ったいろいろな遊びをみんなで楽しむ。 	
	<p>2・3歳</p> <p>「パスターカードを作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親子で簡単な製作活動を経験することで、手作りの物ができあがる楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●初めて参加する親子は登録をする（次回からも同じ）。 ●あいさつや手遊びなどで楽しんだあと、パスターカードのできあがりを提示し、みんなで作ってみる。 ●すてきのできあがり物をそれぞれにほめ、親子で作った喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カードの材料やのりやセロハンテープなど共同で使うものを余分に準備しておく。 ●はさみの危険性を知らせ、使用や置き場所に気をつけることを伝える。 ●作る場所と飾る（並べて見せ合う）場所を確保する。 
6月	<p>0歳</p> <p>「水遊び、楽しいな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親子でかわり合い合って、水遊びの気持ちよさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭でもどこでも、水遊びをする際に気をつけることを考え合う。 ●水遊びができる支度をし、テラスにビニールプールを用意し親子で遊ぶ。 ●子どものペースに合わせて深さの違うビニールプールを選び、親子で水遊びを楽しむ。 ●水遊び後は、水分補給することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭で準備してもらおう物について、支援だよりなどで事前にきちんと知らせておく。 ●子どもの体調や様子に応じて、遊びの時間や遊び方を考えるようにする。 ●水遊びのおもちゃを十分に用意する。 ●水遊びを終えたあとも好きな部屋遊びができるように、環境を整えておく。
	<p>1歳</p> <p>「新聞紙で遊ぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭にある新聞紙で、親子で大胆に遊ぶ楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭にある物で楽しい遊びができることを伝える。 ●いろいろな新聞紙の遊び方を次々に知らせていく。 ●子どもが興味をもった遊びを、親子でかわり合い合って、楽しく大胆に遊ぶ。 ●片づけも、ゴミ袋などをお風呂に見立てたりして、楽しくきれいにできることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新聞紙を家庭で準備するように事前にお願しておく。 ●大胆に遊ぶことができるように遊びの場のスペースにゆとりをもたせる。 
	<p>2・3歳</p> <p>「七夕飾りを作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●七夕の話に親子で興味をもち、かわり合い合って楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●七夕の話を親子で味わい、興味をもつ。 ●折り紙やクレヨンを使って、短冊に書いたり、輪つなぎなどの飾りをいっしょに作る。 ●ハンガーの形を変えてササに見立て、自由に飾りつけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭にある物で楽しく作って、遊べることを感じられるように、材料をくふうする。 ●作ることが苦手だと思っている保護者にも、簡単に作る楽しさが味わえるように、さりげなく言葉をかける。

行事への参加

- フリーマーケット
 - ・地域の人や子育て家庭から集めた品物を遊戯室などに展示し、親子で買い物を楽しむ。
 - ・在園児親子、小学生、地域の人もたくさん訪れ、楽しくにぎやかに交流することができる。
 - ・子育て家庭が主に出品するので、子育て中に必要な物や、あると便利な物のやりとりができる。
 - ・さまざまな人が来園するため、職員だけでなく、父母の会の役員やボランティアも募り、安全に楽しく行えるようにする。

評価の視点

- 地域の在宅児家庭に支援活動が周知されたか（参加者数から把握する）。
- 在宅児家庭の親子が繰り返し参加していたか。
- 支援活動中に、在園児の情緒安定が図られていたか。
- 支援活動中に、保育者間で遊び場などの連携が図られ、交流がスムーズにできていたか。

子育て支援 7月8月9月の月案

	活動内容	保育者の配慮	
7月	園庭開放 ●園庭や遊戯室、プールで、親子でかかわって遊ぶ。	●体調などにより、どこで遊ぶのかを決めてもらい、それぞれの遊びを楽しむ。 ●園庭…三輪車・砂場・ブランコなどで遊びながら、園児や保育者とも触れ合う。 ●遊戯室…マット・カラーボックス・ふわふわボール・リング・手押し車・絵本など。 ●水遊び…遊戯室で着替えたら、大小のプールでじょうろやバケツなどを使って遊ぶ。	●年間予定や前回の親子活動のときに、水遊びができることを伝え、支度をしてきてもらう。 ●それぞれの活動を異年齢で行うため、どの発達段階の子も楽しく安全に遊べるよう、遊びや玩具をくふうする。 ●必要に応じて親子での遊びを援助し、言葉のかけ方やかわり方を伝えていく。
	0歳 「水遊び、楽しいな」 ●親子でかかわり合って、水遊びの気持ちよさを味わう。	●手遊び（水遊びの歌）などをして、子どもの気持ちをほぐしていく。 ●水遊びができる支度をし、テラスのビニールプールに親子で行く。 ●子どものペースに合わせて深さの違うビニールプールを選び、親子で水遊びを楽しむ。 ●水遊び後は、着替えしてから絵本などをゆったりと見る。	●子どもの体調や様子に添って、遊びの時間や遊び方を考えるようにする。 ●水遊びのおもちゃは十分用意する。 ●水遊びを終えた子も好きな部屋遊びができるよう、環境を作っておく。 ●水遊び後は、水分補給することを伝える。
	1歳 「わくわく水遊び」 ●いろいろな水遊びを楽しむ。	●深さの違うプールをいろいろ用意して、浅いプールで寝転がったり、深いプールですくんでみたり、ワニ歩きをしたりして楽しむ。 ●柔らかいボールや耐水性のおもちゃなどを浮かべ、すくったり沈めたりして遊ぶ。	●水を怖がる子も、水に少しでも親しめるように、保護者も無理強いわせずにはかの子の様子を見ることから始めるように伝える。 ●保護者に、子どもの顔色や唇の色、動き方などを常に観察して、体調に注意を要するよう促す。
	2・3歳 「のびのび水遊び」 ●水遊び用のおもちゃを親子で作り、それを使って水遊びを楽しむ。	●「すいか」の歌を覚えて楽しくうたう。 ●牛乳パック・ペットボトルなど耐水性の容器に油性ペンで好きな絵を描き、保護者に目打ちで適当に穴を開けてもらう。 ●着替えたら、作ったおもちゃで水遊びをする。	●大きさや形をさまざま用意し、子どもが選べるようにしておく。 ●目打ちは、子どもが触らないようにコーナーを分けて、配置する。 ●家庭の廃材でおもちゃを作る楽しさをお母さん自身が味わえるよう、進めていく。
8月	園庭開放 ●園庭や遊戯室、プールで、親子でかかわって遊ぶ。	●体調などにより、どこで遊ぶのかを決めてもらい、それぞれの遊びを楽しむ。 ●園庭…三輪車・砂場・ブランコなどで遊びながら、園児や保育者とも触れ合う。 ●遊戯室…マット・カラーボックス・ふわふわボール・リング・手押し車・絵本など。 ●水遊び…遊戯室で着替えたら、大小のプールでじょうろやバケツなどを使って遊ぶ。	●年間予定や前回の親子活動のときに、水遊びができることを伝え、支度をしてきてもらう。 ●それぞれの活動を異年齢で行うため、どの発達段階の子も楽しく安全に遊べるよう、遊びや玩具をくふうする。 ●必要に応じて親子での遊びを援助し、言葉のかけ方やかわり方を伝えていく。 ●夕涼み会についてお知らせし、参加を呼びかける。
	園庭開放 ●園庭や遊戯室で親子でかかわったり園児といっしょに遊ぶ。	●園庭…ボール遊び・滑り台・砂場などで、園児や保育者とかわり合って遊ぶ。 ●遊戯室…マット・カラーボックス・ふわふわボール・リング・手押し車・絵本など。 ●手遊びや紙芝居を楽しむ。	●未入園の子も園児も楽しく遊べるように、玩具の種類や数を調整する。 ●親子でかかわって遊んだり、保護者同士で交流できるように、保育者がさりげなく援助していく。 ●運動会について、その内容や期待している園児の様子を伝え、観覧・参加を呼びかける。
9月	園庭開放 「園バスでおでかけ」 ●なまず池公園へ。	●バスの中で手遊びや歌を楽しむ（バスごっこうた・おべんとううたなど）。 ●公園の遊具で遊んだり、池の周りの散歩を楽しむ。 ●バスの中で子どもや保護者といろいろなお話をしながら、保育園に戻る。	●公園内に危険な個所がないか、事前に把握しておく。 ●シートベルト着用を確認し、保護者の方にも安全への配慮を呼びかける。 ●必要に応じて水分補給を進める。
	1歳 「園バスでおでかけ」 ●港の公園へ。	●バスの中で手遊びや歌を楽しむ（バスごっこうた・どんぐりころころうたなど）。 ●公園の芝生で転がったり、ドングリやマツボックリを拾ったりして、楽しく遊ぶ。 ●バスの中で子どもや保護者といろいろなお話をしながら、保育園に戻る。	●公園内に危険な個所がないか、事前に把握しておく。 ●シートベルト着用を確認し、保護者の方にも安全への配慮を呼びかける。 ●ボールなどの玩具やドングリを入れる袋などを持っていく。
	2・3歳 「みんなで遊ぼう」 ●屋上広場で遊ぶ。	●手遊び歌「とんぼのメガネ」。 ●親子みんなで丸くなって自己紹介（おうちの様子などを話してもらう）。 ●屋上に移動して遊ぶ（シャボン玉・滑り台・マット）。 ●プレイルームに戻り、絵本を見る「ころもところころ」など。	●手遊びや歌で、雰囲気をややかにしていく。 ●おうちの様子を聞き合って、お互いに関心をもてるようにする。 ●階段は危険のないようにゆっくり移動する。 ●屋上で好きな遊びを十分楽しむ。

行事への参加

- 夕涼み会
 - ・近隣のお寺の境内を会場として借り、園児家庭・小中学生・子育て家庭・地域の方などが集まって、歌や踊り、お買い物を楽しむ。
 - ・事前に保育園のお迎え時などに歌や踊りの曲を流し、地域の方も親しめるようにしていく。
 - ・夕涼み会のチラシをお寺や地域に掲示させてもらう。
 - ・会の流れや買物の仕方が初めての方にもわかるよう、放送や掲示をくふうする。
 - ・子どもの安全に十分配慮し、自警団など地域の団体にも協力を呼びかける。

評価の視点

- 地域の在宅児家庭に支援活動が周知されたか（参加者数から把握）。
- 在宅児家庭親子が繰り返し参加し、楽しく遊んだり保育者への相談が気軽にできていたか。
- 支援活動中、在園児の情緒安定が図られていたか。
- 支援活動中、保育者間で、園児全体の活動場所などの連携が図られ、交流がスムーズにできていたか。
- 地域参加の行事において、交通安全への配慮や不審者への対応など、職員および協力団体が連携ができていたか。